



しらみず

いわき市立白水小学校
学校便り 第9号
平成28年10月3日
発行者 校長 遠藤隆宏

平成28年度も半分が過ぎ、折り返しとなりました。暑さも落ち着き、学習に取り組むにはよい季節です。方部音楽祭が終わり、次は「しらみず祭り」に向かって発表の練習に力を入れている子どもたち。一人一人にとって、学校生活の上でも「実りの秋」となるよう、指導しているところです。



9月の教育活動より

木村先生との体育出前教室・・・9月15日

いわき市で体操教室を開いている木村先生を講師としてお招きし、フラフープを使っての様々な運動に親しみました。転がしたフラフープの中をくぐり抜けたり、高く投げ上げたフラフープをキャッチしたりと、同じ道具でも使い方によっていろいろな運動ができるものだと実感しました。

最初のうちはなかなかうまくできなかった子どもたちですが、繰り返してやっているとだんだんと技が増えてきたようで、一つの技ができる度にうれしそうに「見て、見て、できたよ。」と声を上げている姿が印象的でした。



算数授業 校内研究会 6年生・・・9月16日

本校では、少人数で行う授業でどのように一人一人の子どもたちの学力を高めるかをねらい、授業づくりを中心とした校内研修を進めています。この日は6年生の授業を校内の職員で見合いました。「速さ」の学習を、オリンピック金メダリストのボルトを題材として考えました。「100mを9.8秒で走るボルトは50mを8.9秒で走る〇〇君よりもどうして速いと言えるの？」について3人が意見を出し合い、走る距離を合わせて比べることを学びました。それを生かして、マラソン日本記録保持者の高岡選手よりも速く走れるかどうかについて一人一人が考えました。



体育アドバイザー 菅野先生による体育の授業・・・9月16日

いわき教育事務所の体育専門アドバイザーの菅野先生にご来校いただき、体育のマット運動を中心に指導いただきました。マット運動の技のコツ等を教えていただく際に、手本を見せていただくので、子どもたちにとって分かりやすく取り組みやすい指導でした。

また、休み時間にもいっしょに遊んでいただき子どもたちは大喜びでした。

空いている時間には、校庭のトラックラインを引いてくださる等、1日中、白水小学校のために働いてくださいました。



アクアマリン見学学習・・・9月21日

アクアマリンの管内学習支援事業に当選し、実施できた活動です。水族館の見学だけでなく、たくさんの館内学習を行いました。獣医さんに仕事の内容や苦勞を教えていただき、バックヤードツアーでは普段見られない水族館の裏側を見学しました。自分で釣った魚を自分でさばく体験や、小川の水生生物を自分で捕まえて観察する活動も行いました。魚をさばく体験では、魚の臓器や命の大切さについても学習しました。アクアマリンの先生が、さばいた魚をフライにくださり、お弁当の時においしくいただきました。大変充実した一日になりました。

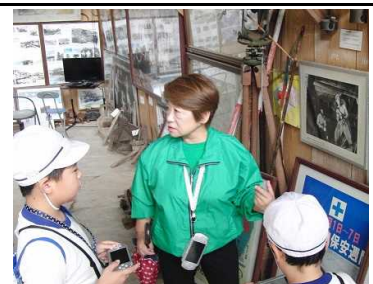


4年生総合 弥勒沢炭鉱跡見学・・・9月23日

外部講師として、地域の歴史に詳しい三室先生をお招きし、4年生の2名が弥勒沢炭鉱跡の見学に行きました。石炭の層を見つけたり、石炭を運ぶトロッコが動くところを実際に見せていただいたり、いろいろな体験をしました。

また、実際に石炭に火をつけて燃える様子も見せていただきました。昨日まで降っていた雨で石炭は濡れていたのですが、火の中に入れると、白い煙を上げて燃えだすところは、驚きでした。

帰りには、本物の石炭をいくつかいただきました。



見学学習 いわき市石炭化石館 2,4年・・・9月30日

2,4年生の秋の遠足として、路線バスを乗り継いで行ってきました。巨大な恐竜やアンモナイトの化石等を見学したり、化石や石炭ができる理由やいわき市からどんな化石が発見されるのかを学んだりしました。地下600mに下りる雰囲気味わいながら入坑した模擬坑道には、常磐炭田の歴史が人形と実物の道具や機械で再現されており、興味深く見学できました。天気が良かったので、お弁当は外の公園で食べました。お弁当を食べた後は、公園内にあるいわき市屋内あそび場「いわきっずもりもり」の施設も見学し、すべり台やトランポリンで楽しく遊んできました。




修学旅行・東京方面 5,6年・・・9月30日

5,6年生は、東京都内の修学旅行の計画を自分たちで立て、計画に沿って自分たちで行動することを目的のひとつとして行事を実施しました。浅草では、雷門から仲見世通りを通り、浅草寺見学をした後、花やしきで遊ぶ時間も設けました。その後、自分たちで探したお店でラーメンを食べて、スカイツリー見学をしました。

その後、上野公園に行く予定でしたが、地下鉄が事故の影響で止まってしまったために、時間がなくなってしまいました。上野公園では、銅像の格好をしたパフォーマーがいてびっくりしました。

◇ 10月の主な学校行事予定

- 3日(月) 全校集会(高学年の発表) 5校時下校
- 4日(火) 交通教室
- 6日(木) クリーン活動・しらみず祭り会場準備
- 10日(月) 体育の日 
- 12日(水) 読み聞かせ(箱崎さん)
- 18日(火) 授業3校時下校(先生方の研究会)
- 20日(木) しらみず祭り予定



- 23日(日) しらみず祭り
- 24日(月) 振替休業日
- 25日(火) 集金日
- 26日(水) 書写教室(山野先生) いわき号
- 27日(木) 書写教室(山野先生)
- 28日(金) 見学学習
- 31日(月) 給食試食会・食育講座

しらみず祭りに向けて

現在、7名の子どもたちは、10月のしらみず祭りに向けての練習をがんばっています。小さい学校なので、出番が多く、開幕劇、合奏、体育の発表、昔話の劇と、練習もたいへんです。練習の成果が発揮できるよう、励ましていきますので、当日を楽しみにしててください。

災害から身を守る 「津波てんでんこ」の教え

2011年の東日本大震災。「釜石の奇跡」はご存知でしょうか。当時、釜石市内の学校では、一人の犠牲者も出さなかったことからこう呼ばれるようになったのですが(※1人の子が迎えに来た親といっしょに自宅に戻り被害にあっています)、以前から釜石地方には「津波てんでんこ」の教えがあったということです。

「てんでんこ」とは、「各自ばらばらに」という意味があります。言い換えれば「津波が来たら、各自一人で高台に逃げる」という教えで、この徹底により被害が少なかったこととなります。

過去にも津波による被害に見舞われていたこの地方では、親が子を心配して探しに行き、津波にのまれてしまう悲劇が、この教えにつながったそうです。子どもたちは、学校でこの教えを学び、親に対して「津波が来たら、私は自分一人で逃げるので、迎えに来ないでください。」と涙ながらに自分で誓いを立てるそうです。各学校には、この「てんでんこ」の歌を定期的に歌い、教えを継続していくこともあったと聞いています。

今年は、台風のあたり年のように、次から次へと台風による風雨の被害が報道されています。8月30日の学校臨時休業は、過去に例のない動きで福島県付近に直接上陸する予報が出されるなど、自然現象はこれまでの経験を上回ることも少なくありません。

また、停滞している秋雨前線による長雨も続き、地盤がゆるくなっているところも多くあります。

子どもたちには、大雨の時には「川に近づかない」「崖に近づかない」ことを指導しています。大切なのは、「自分の命は自分で守ること」です。ご家庭でも、保護者の方が不在になる時の約束をしっかりと決め、自然災害等から身を守ることにについて話し合う機会を設けてみてください。

